



1年目活動報告書

ウィズ ♪ フルサトファーム
インドネシア、東ジャワのバトゥ市
ブミアジ村

For Better Life

LAPORAN KEGIATAN
WITH FURUSATO FARM
TAHUN PERTAMA

ウィズ フルサト ファーム 1年目の活動報告書

フルサトインドネシアは、NPO 法人ウィズと協調を図り、当初の目的を達成するために各種事業を展開。特に、有機栽培を中心にフルサトファームを運営。

そこで、将来、地域の若者にフルサトファームを理解していただくプログラムを策定し、その人材育成にウエイトを置いた。

また、1年間の事業実績を踏まえ、次年度に繋げる計画を構築するため、SWOT 分析を実施した。

SWOT 分析

<フルサトファーム>

1 強み

- ①技能実習生の事前研修・帰国後の研修センターの機能を備えている。
- ②農業起業の支援を行う教育研修センターの機能を備えている。
- ③地域の経済成長を牽引する役割を担っている。
- ④農業高校の教育実習センターとしての機能を備えている。
- ⑤バトゥ市等各自治体の支援体制が確立されている。

2 弱み

- ①バトゥ市の若者は、農業に対する関心度が低い。
- ②バトゥ市の電力不足による農業環境が弱い。
- ③雨季と乾季の差が大きく天候が不順による作物の出来栄が悪い。
- ④農産物販売の流通ルートが確立されていない。
- ⑤農産物の出来栄が悪く販売できるだけの生産量がない。

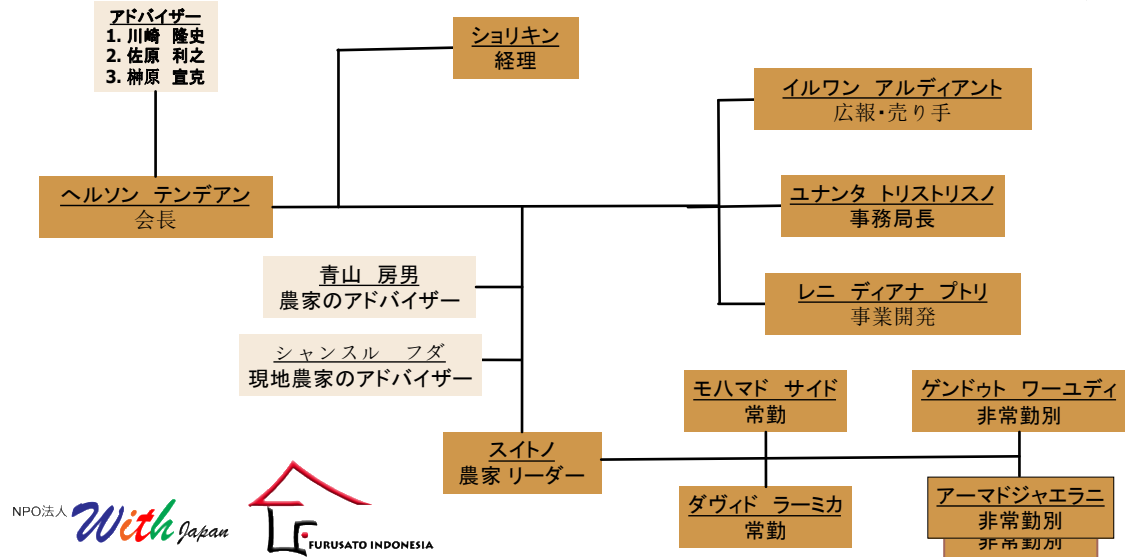
3 機会（チャンス）

- ①農業に興味を持つ若者に、情報発信することによりフルサトファームの重要性が認知される。
- ②インドネシアバトゥ市の産業発展に貢献できる。
- ③フルサトファームが推奨する有機農法は、インドネシアの食文化に影響を与える。

4 脅威

- ①フルサトファームは期間3年の借地の為、契約満了時に期間延長が出来るか疑問。延長できない場合どうするか検討急務。
- ②フルサトファーム運営事業は3年間限定の助成事業であり、期間中の目的達成は難しい。期間終了後、独立した運営ができるかが大きな課題。
- ③フルサト農場で収穫した農産物の流通に関し、現地の食品スーパーとの連携先が見出せない。
- ④農場運営には大きな資金が必要。

組織編成表



1年目の事業報告

ウィズ-フルサト教育農業1年目の事業活動

- インドネシア共和国においては、外国人技能実習生を対象としたインドネシア共和国における研修農場の運営を実施するにあたって、農地の確保が最重要課題であり、事前調査を踏まえ、田原市の農業に見合った農地を、インドネシア共和国バトゥ市の丘陵地3000㎡を借用することで、田原市ウィズとも協議し決定。2019年4月より本格的に農場の整備に着手。
- 植え付けの植物は苺、チェリートマト、メロン、ブロッコリー、ニンジン、ジャガイモ、その他。
- 今年度のプログラムでは、フルサトインドネシアの技能実習生候補者を採用して、2020年、田原市の農業会社へ技能実習生として派遣した。
- バトゥ市の農業高校、マランイスラム大学、バトゥ市農業の専門家等と強調して農業教育を実施した。

番号	活動	目的	担当者	関係者（人数含める）	Tanggal	Tindakan	結果	改善対策
					日付け	対応		
1	農場の進捗状況確認	①計画どおりの植え付けプロセスの確認。 ②植え付け作業結果の分析。 ③有機栽培に適合した植え付け作業の確認。 ④結果を踏まえた改善策の検討。	スイトノ	フルサト：パトラ、アグス、ダヴィド、ゲンドウト、アジェ ル WITH：アオヤマさん、榊原、川崎	2019/11	・農場整備・作物の成長他、進捗確認。 ・篤農家（青山氏）の指導を受ける。	農場スタッフの経験不足・知識不足による出来栄への失敗。 ・田原市篤農家（青山氏）の指導を受ける。 ①土壌改良、堆肥の作り方。 ②イチゴ苗の植え付け方法。 ③散水の時期とその手順。	①ライン等により青山氏の指導をズレず受ける。 ②ハウスの環境整備を早急に実施。 ③スタッフの教育。 ④作付け等教育ビデオ制作。
2	バトゥ市の市長訪問	① 農業活動の進捗状況を報告し理解を得る。 ② フルサト農場の教育農業プログラムを紹介し支援を得る。 ③ 当事業に対してバトゥ市の支援、サポートの協力依頼。	バムジ	フルサト：ヘルソン氏、佐原氏、イルワン氏、スイトノ氏、アグス氏、パトラ氏、ブトリ WITH：アオヤマさん、榊原さん、川崎さん	2019/11	ウィズ-フルサト事業の進捗状況及び計画について説明。	本事業について説明 ①市長の支持を得る。 ②田原市とバトゥ市との姉妹提携、前向きに検討することを確認。 ③田原市への訪問を依頼する。	継続的にバトゥ市の支援要請を積極的に展開する。
3	農業セミナー（第2回受講生）	11月9日農業セミナー開催 フルサト教育農業の紹介と有機農業振興の普及を図る。 ①講師：バトゥ市職員・有機農業経営者 ②参加者：バトゥ市職員3名、農業高校関係者7名、農業高校生50名、農業大学生10名、農家10名、帰国実習生10名 計90名	バムジ	社内：イルワン氏、パトラ氏、ブトリ氏 社外：バトゥ市の農業局（アジ氏）、有機農家結晶グアバ（ハルディ氏）	2019/11	「環境にやさしい農業」をテーマセミナー開催。	環境にやさしい有機農法について講演。 ①バトゥ市農業政策（担当官）と有機農業成功事例の講演。 ②有機栽培の方法説明。 ③農家、学生に有機農法の普及。 ④農業起業の意見交換。 ⑤質疑応答による情報交換。 成果 ・農家、学生、農業専門家との情報共有化図れた。 ・農業は地域経済の柱となる。 ・農家との情報交換が図れた。	セミナーの事前調整が必要。また、目的意識を持ったセミナーとする。 （自己満足に終わらないように）
4	農業技能実習生の採用	外国人技能実習生の募集。（11月11日）	イルワン氏	フルサト：ヘルソン氏、佐原氏、ブトリ WITH：アオヤマさん、榊原さん、川崎さん	2019/11	農業に興味のある若者6名の面接を実施。	技能実習生としての職務、田原市の農業について説明。 田原市の良さをPR。	①バトゥ市の支援を受けた外国人技能実習生を募集。 ②田原市の農業をビデオで紹介。
5	スタッフ指導	農場運営の教材作成。 ①WF農場をバトゥ市の観光地化へ向けた取り組み。 ②農業高校・マランイスラム大学が教育実習の場として利用できる体制整備検討。 ③十分な電気調達計画検討。	ジャンスル フダ	フルサト：ナント、スイトノ、サイド、ダヴィド、ゲンドウト、アジェ ル	2020/1	①バトゥ市の地域活性化の一環として、フルサトファームを観光地化へ向けた取り組み。 ②農業高校・大学が教育実習の場として利用出来る体制整備。 ③電気供給整備の検討。	①マランイスラム大学とフルサトとの協議開始。 ②教育実習の場として利用する旨の理解を得る。	マランイスラム大学においては、フルサトファームが教育実習の場としてのカリキュラムの位置づけ。
6	社外打合せ（第1回受講生）	農業経営には、消費者のニーズを把握し、安定的に生産し、多様な販路を確保する経営手腕が求められます。 その手法として ①農業経営・技術・福祉の改善。 ②有機農法の育成。 を将来に向けてプログラムを作成する。	バムジ	フルサト：スイトノ、ダヴィド、ゲンドウト、アジェ ル	2019/7	7月17日「教育農園開所式」及び農業セミナー開催 バトゥ市2名、農業高校8名、外国人技能実習OB2名、地元高校生50名、バトゥ市周辺方と現地農家10名、フルサト農場スタッフ3名計75名	農業高校の教育実習の場として、環境にやさしい農業について知識を得る。	2020年学校実習プログラムに、農業高校とフルサトとの協力体制整備。
	農業高校生農場視察（第3回受講生）	①有機的に果物、野菜植え付けプロセスの勉強。 ②技能実習生について・農業起業について、の理解を深める。	スイトノ	フルサト：ナント、サイド、ダヴィド、ゲンドウト、アジェ ル	2020/1	バトゥ市の農業高校生徒20名がフルサトファームを視察。	①有機農法についての知識を得る。 ②教育実習の場として、フルサトファームに興味を示す。	2020年学校実習プログラムに、農業高校とフルサトとの協力体制整備。
7	農業高校生の教育（第4回受講生）	農業の技術や経営に関する研修教育を実践する。 ①フルサト農場の趣旨、目的を説明。 ②環境に優しい（有機）農業に対するのスキルアップ。 ③将来、農業を担うリーダーとしての心構えを教育。 ④学校で学んだ知識をWF農場で生かす。	スイトノ	フルサト：ナント、サイド、ダヴィド、ゲンドウト、アジェ ル	2020/2 ～ 2020/3	農業高校生の教育実習（16回）実施。	①12回教育実習をフルサトファームで実践。 ②教諭は生徒を引率し作業工程を指導。 ③教育実習では苺温室、メロン温室、チェリートマト温室、ニンジンやジャガイモの作付けを実践する。 作業分担は各グループに分け実習。	教育実習の場として継続して実習できる体制の整備が急務。
8	技能実習生の教育	①帰国実習生が農業を起業できるよう育成。 ②日本語能力・生活環境の育成。 ③労働環境、地域社会のマナー育成。 ④フルサト農場にて日本語・農業指導	スイトノ	フルサト：ナント、サイド、ダヴィド、ゲンドウト、アジェ ル	2020/3	技能実習生研修プログラム参加者 2名	①技能実習生としての心構えの理解。 ②フルサトファームのスタッフにて教育。 ③フルサトファームでの実習中、日本語にてコミュニケーションが図れた。	①確定技能実習生が、日本語・農業実習が出来る体制整備。 ②送り出し機関にて関係書類整備。 ③帰国実習生の教育プログラムの策定。

SUMMARY KEGIATAN PENANAMAN (TAHUN 1)

植え付け活動の概要(1年目)

植え付け活動の概要(1年目)

植物種類	植え付け期間	植え付け時の問題	改善対策
苺	1期：2019年6月～11月	①苺の成長が悪い。 ②うどん粉病の発生。 ③土壌にあった苗の選択誤り。 ④苗床の土壌、殻、堆肥の不具合。 ⑤散水の時期、時間改良。	①うどん粉病予防対策に薬剤（アグロニーム）を散布。 ②うどん粉病有機性薬剤の効果的散布。 ③気候に合ったイチゴの苗交換。
	2期：2019年12月～現在	①気温の高い炎天下ではうどん粉病の発生原因となる。 ②苗床が悪い。 ③害虫及び真菌（カビ）が発生。 ④2020年1月～2月、スコール時は排水性が悪い。	篤農家（青山氏）より以下の指導を受け対策を講じた。 ①堆肥の作り方をスタッフ全員で学んだ。 ②換気を良くし気温を下げ、苗の状態を確認し散水をする。 ③うどん粉病予防対策に有機性薬剤を散布、また、薬剤の作り方も学ぶ。 ④プランターに苗の植え付け方を学ぶ。（株の間隔はあまり詰めない） ⑤気候に合ったイチゴの苗に交換。 ⑥疾病の原因を分析。
メロン	1期：2019年6月～10月	温室内： ①除草がされていない。 ②降雨時の水はけが悪い。メロンの育成に悪影響。 ③粗悪な土壌。堆肥不足。 ④害虫及びうどん粉病の発生。 温室外： ①スコール時の水はけが悪い。 ②温室外も土壌改良が必要。 ③メロンの成長が非常に悪い。	①除草。 ②定期的に薬剤の散布。 ③害虫及び真菌/有機薬剤の散布
	2期：2019年12月～現在	①苗床が悪い。 ②害虫及び真菌（カビ）が発生。 ③2020年1月～2月、スコール時は排水性が悪い。	①除草、水はけの改良。 ②定期的に殺菌剤の散布。 ③害虫及び真菌/有機医薬の散布。 ④堆肥にて土壌改良。 ⑤大豆を植え付け空中の窒素分を根に発生させ土壌改良す
チェリートマト	1期：2019年7月～11月	①除草の管理が悪い。 ②換気が悪い。疾病の原因。 ③害虫及び真菌（カビ）の発生。 ④ほとんどの苗が枯れた。 ⑤土壌改良し新たに苗を植え付ける。 ⑥土壌と肥料の不適切な組成。	①除草の徹底。 ②害虫及び真菌/有機医薬の散布。 ③定期的に散水。
	2期：2019年12月～現在	同上	①除草の徹底。 ②換気を良くし気温の調整を図る。 ③害虫及び真菌/有機医薬の散布。 ④種子の選択。 ⑤大豆を植え付け土壌改良する。 ⑥定期的に散水。 ⑦疾病の原因を常に管理。
ブロッコリー カリフラ	2019年11月～2020年1月	①病虫害の発生。 ③土壌管理、除草の徹底。	①定期的に朝と夕方に散水する。 ②害虫薬の散布。 ③施肥。 ④除草の徹底。 ⑤発芽・間引きなど育苗管理。
ジャガイモ	2019年10月～現在	①病虫害の発生。 ②土壌管理、除草の徹底。 ③排水設備の改良。	①畑を起こす。（トラクター） ②発芽・間引きなど育苗管理。 ③除草の徹底。 ④芽かき。
ニンジン	1期：2019年11月～2020年2月	①病虫害の発生。 ②土壌管理、除草の徹底。 ③排水設備の改良。	①畑を起こす。（トラクター） ②発芽・間引きなど育苗管理。 ③除草の徹底。 ④散水の徹底。 ④芽かき。
	1期：2020年2月～現在	①病虫害の発生。 ②土壌管理、除草の徹底。 ③排水設備の改良。	①畑を起こす。（トラクター） ②発芽・間引きなど育苗管理。 ③除草の徹底。 ④散水の徹底。 ④芽かき。

INFRASTUKTUR 設備

フルサトファーム設備は以下のとおり。

1. Greenhouse : 3 unit
温室 : 3 棟 (台風で倒壊した温室 2 棟、竹の骨組みから鉄骨に改修)
2. Pagar Keliling
農場周りのフェンス工事
3. Tandon Air : 2 buah
貯水槽 : 2 槽設置
4. Gapura di Pintu Masuk
門構え設置
5. Pipa Pengairan di seluruh area kebun
農場エリア配管工事
6. Gazebo / tempat istirahat / pertemuan: 3 Unit
ガゼボ・休憩場所 : 3 棟建設
7. ConBlok untuk Sarana Jalan
農場通路の整備 (コーンブロック) 敷設
8. Bunga Hias Marigold
マリーゴールドの花
9. Dapur
洗面設備 1 カ所設営
10. Kamar Mandi/Toilet
トイレ設備 1 カ所

Laporan Hasil Penjualan (Tahun 1)

販売結果(1 年目)

Laporan Hasil Penjualan (Tahun 1)

販売結果(1年目)

Jenis Tanaman 植物種類	Waktu Panen 収穫期間	Hasil Penjualan 販売結果					
		Jenis Tanaman 植物種類	Hasil Panen 収穫結果 (Kg)	Harga Per Kilo 単価 (Rp)	Sub Total 合計 (Rp)	Total 総計 (Rp)	
Bunga Kol & Brokoli ブロッコリー、カリフラ	DESEMBER 2019 sd JANUARI 2020 2019年12月から2020年1月	Brokoli Grade B Bグレードブロッコリー	11	Rp 10,000	Rp 110,000		
		Bunga Kol Grade A Aグレードカリフラワー	54	Rp 3,000	Rp 162,000		
		Bunga Kol Grade B Bグレードカリフラワー	306	Rp 2,000	Rp 612,000		
		Bunga Kol Grade C Cグレードカリフラワー	19	Rp 1,500	Rp 28,500		
		Bunga Kol BS 良くないカリフラワー	93	Rp 1,000	Rp 93,000		
		Jumlah 合計					Rp 1,005,500
Wortel ニンジン	FEBRUARI 2020 2020年2月	Wortel ニンジン	519	Rp 3,000	Rp 1,557,000		
		Jumlah 合計					Rp 1,557,000
Tomat Cherry チェリートマト	MARET 2020 2020年3月	Tomat Cherry チェリートマト	4	Rp 11,000	Rp 44,000		
		Tomat Cherry チェリートマト	3	Rp 11,000	Rp 33,000		
		Jumlah 合計					Rp 77,000
Kentang ジャガイモ	MARET 2020 2020年3月	Kentang ジャガイモ	154	-	-	-	
		Jumlah 合計					
Melon メロン	OKTOBER & MARET 2020 2020年3月	Melon メロン	63	-	-		
		Jumlah 合計					-
				Total 総計 (Rp)		Rp 2,639,500	

Catatan (記):

- Hasil Penjualan sangat rendah karena WF Farm belum memiliki jaringan penjualan ke pasar lokal, sehingga masih melalui agen penjualan lokal yang mempermainkan harga.

(現地市場ネットワークが不十分な為、販売代理店の卸価格が低額。) □

- Tanaman Melon belum mendapat hasil yang baik, sehingga belum bisa di jual.

(メロン収穫が悪く販売出来ず。) □

- Tanaman Kentang Sudah Panen di akhir Maret 2020, namun belum dapat pembeli karena beberapa Pasar Tutup karena dampak dari Virus Corona (COVID-19)

(2020年3月末に収穫したジャガイモは、コロナウイルス(COVID-19)の影響により販売出来ず。) □